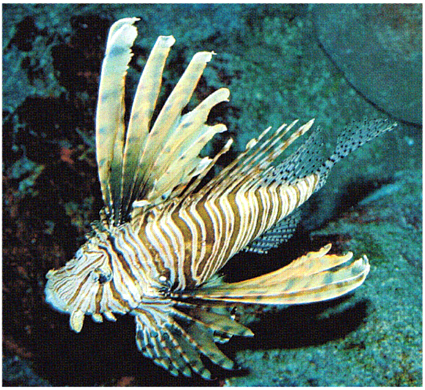

㊧胸びれを広げて泳ぐ姿が美しいハナミノカサゴ㊨背びれや腹びれ、尻びれに毒があるとげを持つハナミノカサゴ

おもしろ生き物図鑑 かごしま水族館から

美しいがとげがある

ハナミノカサゴは、水深の比較的浅い岩礁やサンゴ礁域に生息します。大きな胸びれを扇子のように広げて優雅に泳ぐ姿が、たてがみを持つライオンの顔に似ているためか英名では「Ｒｅｄ Ｌｉｏｎｆｉｓｈ（赤いライオンのような魚）」と呼ばれています。美しい姿からダイバーに人気です。

魚たちの中には、背びれや胸びれなどに毒腺のある鋭いとげを持つものがいて、「刺毒魚」と呼ばれます。ハナミノカサゴも背びれや腹びれ、尻びれに毒があるとげがあります。釣りをしていると、ハナミノカサゴが釣れることがありますが、とげが刺さると激しく痛み、患部は大きく腫れます。そのため、ハナミノカサゴを扱う時には、刺されることがないように十分気をつけましょう。

水族館では、サンゴ礁水槽で大型の魚類と一緒に飼育展示しています。水槽の中でも胸びれを広げ、優雅に泳ぐ姿がとても目立っているので、大きな魚に食べられてしまうのではないかと心配です。しかし、とげという武器を持っているためか、他の魚に襲われることなく自由気ままに泳いでいます。

ことわざに「美しい花にはとげがある」があります。美しいものには人を傷つけてしまう一面があるという意味です。もし「美しい魚にはとげがある」ということわざを作るとしたら、きっとハナミノカサゴをモチーフに作られることでしょう。（展示課魚類展示係長・吉田明彦）

ハナミノカサゴ

学名　*Pterois volitans*

分類	カサゴ目フサカサゴ科
全長	30～40㌢
分布	駿河湾（静岡県）以南の岩礁やサンゴ礁域
食べ物	小型の魚や、エビやカニなどの甲殻類
特徴	獲物に気づかれないように、周りの環境に合わせて体の色を変化させて近づき、捕食する。大きな胸びれを広げて、小魚を追い込むように捕食することもある。夜行性で、日中は岩陰や隙間でじっとしていることが多い。